

●ウルフドッグス名古屋 あいさつ運動

選手とチームマスコットのウルフくんが市内小学校を訪問してあいさつ運動を行い、子どもたちとふれあいました。(下津小学校)



▲併せて、市内の全小生にオリジナル下敷きがプレゼントされ、大里西小学校で贈呈式が行われました

みんなのひろば

●砂の造形展 (稲沢サンドフェスタ)

サリオパーク祖父江で、「光 ～新しい明日へ～」をテーマに大型砂像10基を展示しました。



▲砂でできた大きな「いなッピー」の迫力にびっくり!

消費生活センター  
からのお知らせ  
市役所商工観光課

トラブルを未然に防ごう

消費者をだますサクラサイト商法に注意!  
サクラサイト…社長、芸能人、弁護士、占い師などになりすましてメール交換などの有料サービスを利用させ、支払いをさせるサイト

事例

- ・社長と連絡先を交換できるとメールが届きサイトに登録したところ、「800万円を援助する」というメールが届いた。援助を受ける手続きとして、電子マネーで数千円振り込み、その後何度も請求がある度に支払ったが、援助は得られなかった
- ・「メールで悩みを聞けば収入を得られる」というサイトに登録した。メールは無料だが、お金の受け取りにはポイントの購入が必要と言われ、ポイントを購入し続け、1週間で180万円も支払ってしまった

アドバイス

- ・お金を支払うよう言われた時には、一度冷静になって考えるようにしましょう
- ・個人情報は絶対に教えないようにしましょう
- ・メールのやり取りは削除せず、残しておきましょう

市役所消費生活センター ☎0587(32)2594  
受け付け 月～金曜日 ※祝休日を除く  
午前10時～正午・午後1時～3時

警察署からのお知らせ

稲沢警察署 ☎0587(32)0110



稲沢市では、無施錠被害が  
県内でも特に多く発生しています!

市内で、窓や玄関などの無締まり箇所を狙った住宅対象の侵入盗被害が多発しています。被害の特徴は、近隣市町村に比べ無締まり箇所からの侵入率が極めて高いことが挙げられます。防犯の基本は施錠です。出掛ける前はもちろん、在宅時、就寝前は必ず戸締まりを確認しましょう。

この機会に自宅の防犯対策を見直してみてもいかがでしょうか。例えば、クレセント錠に加え、写真のような補助錠をサッシ上部に取り付けることで、泥棒に侵入されるリスクを大幅に減らすことができます。



ケーブルテレビの稲沢市広報番組  
いなざわふれあい通信

問合せ先 市役所秘書広報課

市の施設や計画、行事、祭り・イベントなどを映像でお伝える市政広報番組「いなざわふれあい通信」を、稲沢CATV (TOP TOWER) と西尾張CATV (クローバーTV) で放送しています。

- ◆ 12月1日～15日の放送内容 「人権週間」
- ◆ 12月16日～31日の放送内容 「お口の健康」
- 放送開始時間 (10分番組)  
稲沢CATV… 6:50、9:50、10:50、11:50、14:50、17:50、20:50、21:50  
西尾張CATV… 8:45、14:15、17:45、20:45

▷番組のDVDを市役所秘書広報課、支所で貸し出しています  
▷放送期間中の内容は、市ホームページからも、視聴できます

ここから視聴できます!



俳句 安田一子 選

【特選】  
縁側やふくら雀の爺と婆 (長束町) 東 信吾  
初霜や踏切わきに地蔵尊 (北島町) 熊谷 有史

【入選】  
朝日受くふくら雀や会議中 (大塚北一丁目) 竹村日出子  
廃駅のふくら雀は人恋し (田代一丁目) 原田千鶴  
飛び立ちてふくら雀の帯の舞 (梅須賀町) 田中佳子  
掛軸のふくら雀は夜遊ぶ (下津片町) 松尾 英利  
初霜や葱の食べ頃おしえられ (祖父江町山崎) 光崎 倭子  
初霜や悲喜こもごもの生ありて (奥田町) 村瀬三重子  
初霜やそぞろ歩き履の跡 (平和町勝幡新田) 矢野 泰正  
初霜や記念の鉢植え部屋に入れ (北島町) 内笹井幸子

【評】  
東さん…ユーモアにあふれ、温かさがしみじみ伝わってくる。  
長寿万歳! 熊谷さん…奥田の駅であろうか。悲しいことが繰り返されないように地蔵尊が見守っている。心に響く句である。

●募集します (俳句) ▶兼題 (2月号) 豆まき、底冷え▶締切日 12月15日 (火) ▶応募方法 住所・氏名を記入の上、市役所秘書広報課 (〒492-8269 稲沢市稲町1)へ ※兼題1つに2句まで。FAX (0587(23)1489)、Eメール (haiku@city.inazawa.aichi.jp) でも受け付けます

笑顔で話そう



嶋津ビクトリアさん (岐阜県土岐市在住)

●4カ国語を習得するまで  
出身国は、マチュピチュ遺跡などで有名なペルー共和国で、今から約30年前に日本に移り住みました。母国語のスペイン語に加え、英語・ポルトガル語・日本語の計4カ国語を話すことができます。

●多言語を活かした活動  
友人の紹介で、約15年前から現在に至るまで、名古屋国際センターで通訳の仕事をしています。そこでポルトガル語の通訳を務めていた方の紹介で、稲沢市でも通訳をすることになりました。

●ポルトガル語による相談  
毎月2回、金曜日の午前中に行っている、税金や各種手当に関することなど、さまざまな相談を受け付けています (24頁参照)。

日本に来たばかりの頃は、買い物をするにも、商品に外国語表記がないので砂糖と塩を間違えて買ってしまったり…。働いていた会社でも従業員はみんな日本人だったので、日本語が分からないことは本当に不便でした。そこで、何とか日本語を習得しよう、日々の生活や市販のテキストなどから独学で勉強しました。今でも、分からない言葉や漢字があれば、必ずその場で調べてメモをするようにしています。

また、当時住んでいた町はブラジル人が多く住む地域で、子どもの友人や保護者もブラジル人はかりでした。子どものためにと、ブラジル人が話すポルトガル語も独学で覚えたいです。

ポルトガル語はスペイン語にとても似ているため、比較的覚えやすかったです。

ポルトガル語はスペイン語に比べて、税金や各種手当に関することなど、さまざまな相談を受け付けています (24頁参照)。

相談では、相談者の話を冷静かつ真摯に向き合ってもらおうと心がけています。相談者から、疑問・悩み・不安が解消されたとお礼の言葉をいただく、やりがいを感じます。

市内にお住まいの外国人の方で、「ポルトガル語による相談」を知らない方もいらっしゃると思います。身近な外国人に、ぜひ教えてあげてください。どんなに小さなことでも、気軽に相談に来ていただきたいと思います。

